



## DM16/DM12

16/12 Input Analog Live and Studio Mixer with Midas Microphone Preamplifiers

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

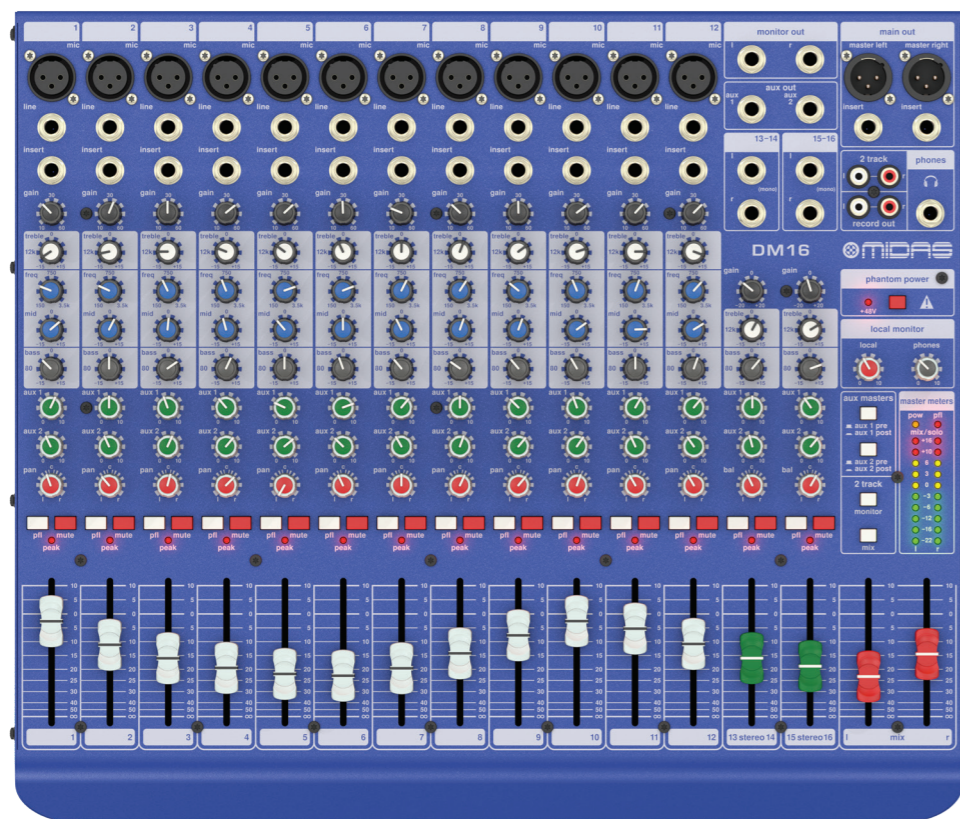
**法的放棄**

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

**限定保証**

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [community.musictribe.com/pages/support#warranty](https://community.musictribe.com/pages/support#warranty) にて詳細をご確認ください。

## 1. 前書き



DM16



DM12

### ようこそ!

DDA DM16 / DM12 アナログミキシングコンソールをお買い上げいただきありがとうございます。

DM12 と DM16 は、豊富なルーティングオプション、ミュージカル EQ、DDA の姉妹会社である Midas が開発したスムーズでプロフェッショナルなサウンドを備えたクラシックなアナログコンソールです。

これらのコンソールは、スタジオとライブの両方のアプリケーションに十分な汎用性を提供し、適切な手入れとメンテナンスを行うことで、DDA コンソールが今後何年にもわたって忠実に機能することを期待できます。

### 特徴

- 16/12 入力チャンネルを備えたライブパフォーマンスとスタジオレコーディングのアナログミキサー
- 受賞歴のある Midas マイクプリアンプを備えた 12/8 モノラル入力チャンネル
- ¼" TRS コネクタの 2 つの電子的にバランスの取れたステレオライン入力チャンネル
- スイープミッドバンドを備えたモノチャンネルの 3 バンド EQ
- フェード前後の切り替えを伴う 2 つの Aux センド
- 60 mm 精密長寿命フェーダー
- ポータブルアプリケーションでの耐久性のための頑丈なシャーシ構造
- オートレンジユニバーサルスイッチモード電源
- 3 年間の保証プログラム
- イギリスで設計および設計された

### このマニュアルについて

DM16 および DM12 アナログミキシングコンソールの取扱説明書です。このマニュアルは、開梱、設置、接続、セットアップ、および操作の手順を説明することにより、ユニットをできるだけ早く設置して操作できるようにすることを目的としています。DM16 と DM12 に慣れるために、コントロールの説明と、わかりやすいユーザー指示があります。

## 2. 入門

このセクションでは、DM16 / DM12 アナログミキシングコンソールを開梱、インストール、接続、スイッチオン、および構成する方法について説明します。



この装置は、感電の原因となる可能性のある主電源電圧によって供給されます。

この装置を設置、セットアップ、または操作する前に、このセクションのすべてと、このマニュアルの冒頭にある「重要な安全上の注意」を読み、完全に理解していることを確認してください。ユニットの上部カバーにある追加の安全情報を参照してください。

### 開梱

DM16 / DM12 アナログミキシングコンソールを慎重に開梱します。次に、輸送中に発生した可能性のある損傷の兆候がないかコンソールを注意深く検査し、損傷が見つかった場合はすぐに宅配業者に通知します。

DM16 / DM12 機器パッケージの内容を確認してください。不足している、正しくない、または欠陥のある部品がある場合は、最寄りの販売代理店または DDA にお問い合わせください。

機器をメーカーまたはサプライヤーに返却する必要がある場合、または後でユニットを輸送または出荷する必要がある場合に備えて、元の梱包を保持してください。

### インストール

コンソールの位置は会場によって異なります。コンソールをインストールするときは、次の点に注意してください。

- このクラス1機器を設置して操作する前に、主電源リード線を介して主電源電圧供給ソケットコンセントの保護接地導体に正しく接続されていることを確認してください。
- FOH (Front Of House) で使用するためにコンソールを配置するときは、使用するサウンドシステムがミックス位置から適切に聞こえる位置にコンソールを配置する価値があります。コンソールを柱や大きな物体の後ろに置いたり、スピーカーの位置より上のレベルから (バルコニーなどから) 混合したりしないようにしてください。
- コンソールは、コンソールの使用に見合った便利な場所に配置する必要があります。
- 理想的には、配電機器やその他の潜在的な干渉源から離れた、涼しい場所が望ましいです。
- 換気の悪い場所に機器を設置しないでください。
- 過度の熱、ほこり、または機械的振動にさらされる場所にこの装置を設置しないでください。機器の周囲に十分な換気を行い、ファンと通気口がふさがれないようにしてください。可能な限り、機器を直射日光にさらさないでください。
- 誤って転倒する恐れのある不安定な状態に機器を置かないでください。
- 人々がコンソールをテーブルトップとして使用するのを防ぐために、コンソールを囲む平らな面を用意する必要があります。

### 力

内部電源は、入力主電源電圧を自動的に検出するスイッチモードタイプであり、公称電圧が 100 VAC~240VAC の範囲で動作します。

ユニットが出荷されたエリアで接続するための正しいリード線は、ユニットに付属しています。機器は、付属のリード線を使用して主電源コンセントにのみ接続する必要があります。

付属のメインケーブルに取り付けられているプラグが、ユニットのメイン IEC コネクタにしっかりと取り付けられていることを確認してください。プラグを取り付けたり取り外したりするときは、常にプラグ自体を持ち、ケーブルを使用しないでください。ケーブルが損傷する可能性があります。濡れた手でコンセントを抜き差ししないでください。

### 機器の取り扱い

機器を持ち上げたり移動したりするときは、常にそのサイズと重量を考慮してください。必要に応じて、適切な吊り上げ装置または輸送装置、または十分な追加の人員を使用してください。

機器を電氣的に完全に隔離し、すべてのケーブルを機器から外してから移動してください。

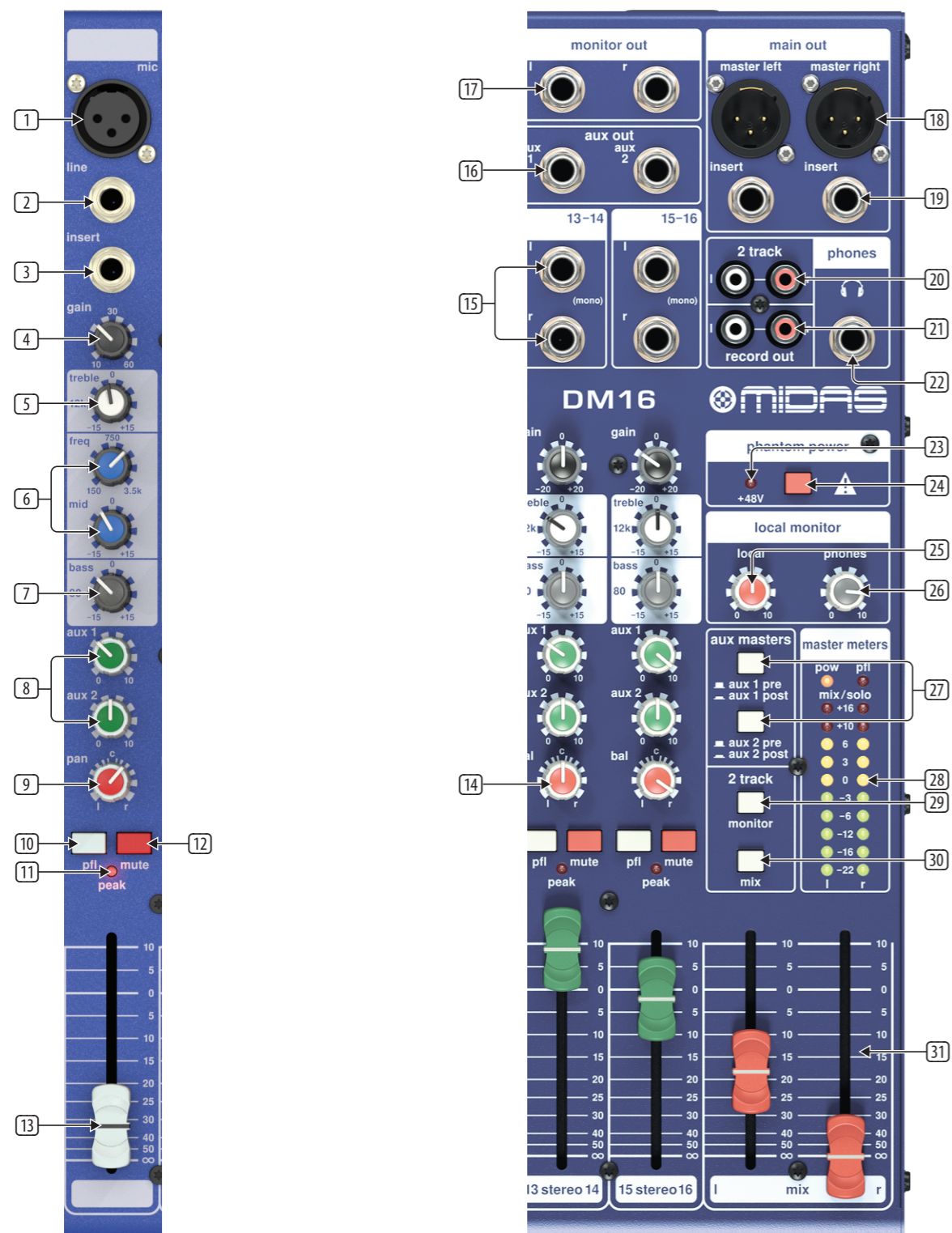
通気口など、機器の隙間や開口部に指や手を挿入しないでください。

### 電界

FCC 規則および規制のパート 15 に従い、「...コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。」

この製品を可聴周波数信号 (20 Hz~20 kHz) で振幅変調された電磁界で使用すると、信号対雑音比が低下する可能性があります。極端な条件下 (3 V/m、90% 変調) では、変調信号に対応する周波数で最大 60 dB の劣化が発生する可能性があります。

## 3. トップパネル



- ① **MIC** 入力、XLR コネクタを使用してマイクとその他のバランス信号を接続します。
- ② **LINE** 入力、 $\frac{1}{4}$ " TRS プラグを使用して、平衡信号またはラインレベルの不均衡信号を接続します。
- ③ **INSERT** ジャックは  $\frac{1}{4}$ " TRS プラグを使用して、外部エフェクト処理 (通常は圧縮) をチャンネルの信号パスに取り込みます。このジャックには、外部ユニットの入力とアクセスに 2 つのプラグ ( $\frac{1}{4}$ " TS または XLR) に分割される専用の挿入ケーブルが必要です。接続を出力します。
- ④ **GAIN** ノブは、MIC および / または LINE 入力の感度を調整します。
- ⑤ **TREBLE** ノブは高周波を調整します。
- ⑥ **MID** および **FREQ** ノブはミッドレンジ周波数を調整します。FREQ ノブを調整して、MID ノブで調整された特定の周波数を選択します。
- ⑦ **BASS** ノブは低周波数を調整します。

- ⑧ **AUX 1** および **AUX 2** ノブは、モニタリングまたは外部エフェクト処理のために、各チャンネルから AUX OUT ジャックに送信される信号の量を制御します。AUX MASTERS ボタンを使用して、AUX チャンネルがプリフェーダー信号 (PRE) を送信するかポストフェーダー信号 (POST) を送信するかを制御します。
- ⑨ **PAN** ノブは、各チャンネルの左右のステレオ配置を制御します。
- ⑩ **PFL** (Pre Fader Listen) ボタンを押すと、チャンネルがソロになり、入力信号が MASTER METERS セクションに送信され、より正確なゲイン設定が可能になります。PFL モードでは、ソロ信号は MONITOR OUT および PHONES 出力にルーティングされ、MASTER METERS セクションの PFL LED が点灯します。
- ⑪ **PEAK LED** チャンネル信号が過負荷になると点灯します。
- ⑫ **MUTE** ボタンはチャンネルをミュートします。
- ⑬ **CHANNEL FADERS** ミックス全体内の各チャンネルの最終レベルを制御します。
- ⑭ **BAL** ノブは、STEREO 1 および STEREO 2 入力から入ってくるステレオ信号の相対的な左右のバランスを制御します。
- ⑮ ステレオ **STEREO 1** および **STEREO 2** 入力は、外部エフェクトプロセッサからのステレオリターンなど、左右のステレオ信号をミックスにルーティングするために使用できます。モノラル信号の場合は、ステレオ入力の各ペアの L (MONO) 入力を使用します。
- ⑯ **AUX OUT** ジャックは、AUX ミックスを外部エフェクトプロセッサまたはステージモニターにルーティングするために使用できます。センドアンドリターンエフェクト処理の場合は、STEREO 1 および STEREO 2 入力を使用して、エフェクトされた「ウェット」信号をミックス全体にルーティングします。
- ⑰ **MONITOR OUT** ジャックは  $\frac{1}{4}$ " TRS プラグを使用して、ファイナルミックスのコピーをローカルまたはスタジオモニターにルーティングします。LOCAL MONITOR セクションの LOCAL ノブを使用して MONITOR OUT レベルを制御します。PFL (プリフェーダーリッスン) モードでは、ソロの PFL 信号 MONITOR OUT 出力のメインミックス信号をオーバーライドして置き換えます。
- ⑱ **MASTER LEFT** および **MASTER RIGHT** ジャックは XLR コネクタを使用して、最終的なステレオミックスをモニターまたはメインハウスミックス (ライブサウンド) に送信します。
- ⑲ **MAIN OUT INSERT** ジャックは  $\frac{1}{4}$ " TRS プラグを使用して、信号が MASTER 出力を通過する前に、外部エフェクト処理をファイナルミックスに適用します (たとえば、ファイナルミックス全体を圧縮するため)。このジャックには、2 つのプラグ (いずれか 1 つ) に分割される専用のインサートケーブルが必要です。 $\frac{1}{4}$ " TS または XLR) を使用して、外部プロセッサの入力ジャックと出力ジャックにアクセスします。
- ⑳ **2 TRACK** は RCA ジャックを使用して、追加のラインレベルステレオ信号をメインミックス (MIX ボタン) および / または MONITOR OUT ミックス (MONITOR ボタン) にルーティングします。ステレオ音源のボリュームコントロールを使用して、2 TRACK 信号のレベルを制御します。
- ㉑ **RECORD OUT** は RCA ジャックを使用して、最終ミックス信号のラインレベルのコピーを外部の録音デバイスに送信します。
- ㉒ **PHONES** ジャックは  $\frac{1}{4}$ " TRS プラグを使用してヘッドフォンを接続します。LOCAL MONITOR セクションの PHONES ノブを使用して出力レベルを制御します。PHONES ソース信号はメインミックスから供給されます。ただし、PFL モードでは、ソロの PFL 信号がオーバーライドされて置き換えられます。メインミックス信号。
- ㉓ **+48 V LED** ファンタム電源が作動したことを示すために点灯します。
- ㉔ **PHANTOM POWER** ボタンはファンタム電源のオンとオフを切り替えます。
- ㉕ **LOCAL** ノブは、MONITOR OUT ジャックの出力レベルを制御します。
- ㉖ **PHONES** ノブは PHONES ジャックの出力レベルを制御します。
- ㉗ **AUX MASTERS** ボタンは、AUX 1 および AUX 2 ノブのプリフェーダー (PRE) およびポストフェーダー (POST) 設定を制御します。
- ㉘ **MASTER METERS** メインミックスの表示レベル、および詳細なゲイン設定のためにアクティブ化された PFL (プリフェーダーリッスン) 機能を備えたソロチャンネル。POW LED が点灯して、ユニットの電源がオンになったことを示します。PFL LED が点灯し、メーターが PFL ゲイン設定に使用されていることを示します。
- ㉙ **2 TRACK MONITOR** ボタンは、ステレオ 2 TRACK 信号を MONITOR OUT ミックスにルーティングします。
- ㉚ **2 TRACK MIX** ボタンはステレオ 2 TRACK 信号をメインミックスにルーティングします。
- ㉛ **MIX** フェーダーは、MASTER LEFT および MASTER RIGHT ジャックでミキサーの全体的な出力を調整します。

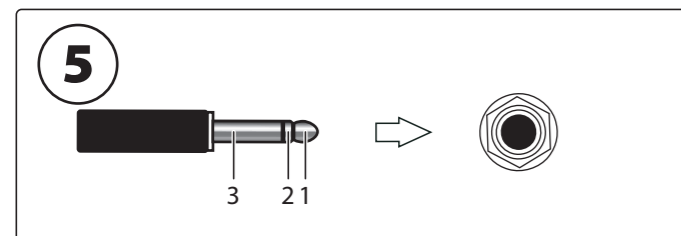
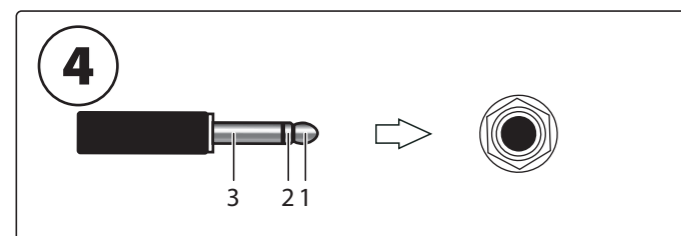
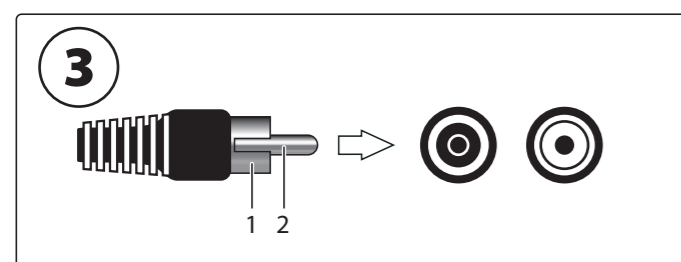
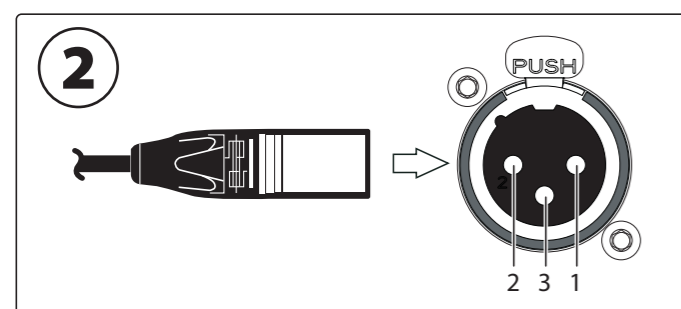
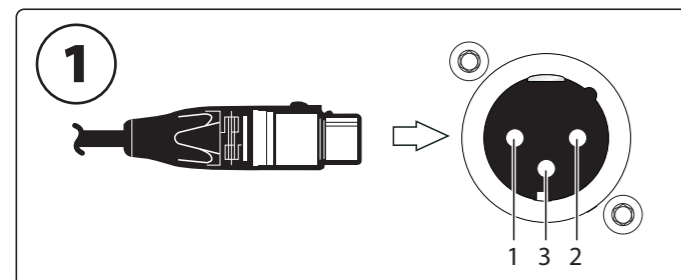
## 4. 後面パネル



- ⑳ **AC IN** は、コンセントに接続するための付属の電源ケーブルを受け入れます。
- ㉑ **POWER ON** スイッチはミキサーのオンとオフを切り替えます。
- ㉒ **SERIAL NUMBER** 保証登録用。

## 5. コネクタ

機器の正確で信頼性の高い動作を保証するには、高品質のバランスの取れた、遮蔽されたツイストペアオーディオケーブルのみを使用する必要があります。XLR コネクタシェルは、コンソール/スネークに接続したときにスクリーンを提供するように金属構造である必要があります、必要に応じて、ケーブルスクリーンにピン1を接続する必要があります。

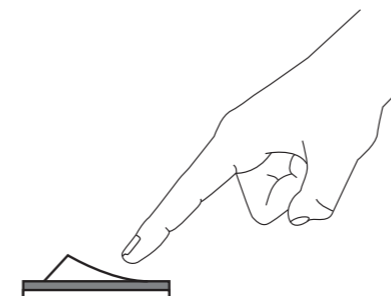


1. ライン出力オーディオコネクタ。次のピン配列のメス XLR プラグとオス XLR シャーシコネクタ: 1 = アース。2 = 暑い; および 3 = 寒い。
2. マイク / ライン入力オーディオコネクタ。次のピン配列のオス XLR プラグとメス XLR シャーシコネクタ: 1=アース。2 = 暑い; および 3 = 寒い。
3. RCA コネクタ (2トラック/録音出力)。次のピン配列のオス RCA プラグとメス RCA シャーシコネクタ: 1 = アース。2 = 信号。
4. 1/4" TRS ジャックプラグ (インサート)。次のピン配列を備えたオス 1/4" TRS プラグおよびメス TRS シャーシコネクタ: 1 (チップ) =送信、2 (リング) =リターン、3 (スリーブ) =アース。
5. 1/4" TRS ジャックプラグ (入力、出力、電話)。次のピン配列を備えたオス 1/4" TRS プラグおよびメス TRS シャーシコネクタ: 1 (チップ) =ホット、2 (リング) =コールド、3 (スリーブ) =アース。

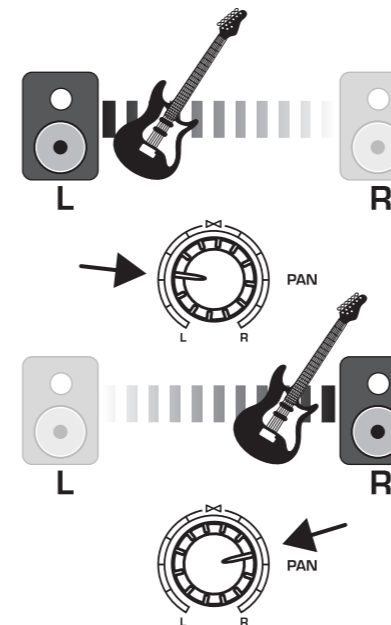
## 6. 操作

### 基本操作

1. すべてのデバイスの電源がオフになっていることを確認してください。
2. 適切なすべての電源ケーブルとオーディオケーブルをミキサーに接続します。
3. すべてのノブを中央に配置し、すべてのフェーダーを下/オフにしてコントロールを設定します。
4. ミキサーの電源を入れます。



5. 各チャンネルのゲインを設定します。(詳細については、「ゲイン設定」セクションを参照してください。)
6. MAIN MIX フェーダーと LOCAL MONITOR ノブを完全に下げた状態で、PA システムまたはモニターの電源を入れます。
7. MAIN MIX フェーダーまたは LOCAL MONITOR ノブをゆっくりと希望のレベルまで上げます。
8. 各チャンネルフェーダーを上げて、各チャンネルの相対レベルを調整します。



9. 必要に応じて、チャンネルの PAN または BAL ノブを回して、ステレオフィールドでチャンネルの左右の位置を調整します。
10. ライブアプリケーションの場合は、MIX フェーダーを上げて、ミキサーからパワーアンプまたはパワードスピーカーへの全体的な出力を調整します。MASTER METERS の赤い +10 または +16 LED が点灯している場合は、MIX フェーダーを下げます。
11. AUX 1 および AUX 2 ノブを使用して、AUX OUT ジャックに接続されたエフェクトプロセッサまたはステージモニターにチャンネル信号を送信します。エフェクトに使用する場合は、信号をプロセッサから STEREO 1 または STEREO 2 入力にルーティングします。

### ゲイン設定

1. Channel 1 PFL (Pre-Fader Listen) ボタンを押して、MASTER METERS を使用してゲイン設定のためにチャンネルをソロにします。MASTER METERS セクションの PFL LED が点灯します。
2. チャンネル 1 に接続されたマイクまたは楽器を使用して、通常のレベルで歌ったり、話したり、演奏したりします。
3. 歌ったり演奏したりしながら、チャンネル 1 の GAIN コントロールを回します。MASTER METERS は信号レベルを表示します。GAIN コントロールを設定して、MASTER METERS で最も大きなピークが 0 に達するようにします。
4. チャンネル 1 の PFL ボタンをもう一度押し、そのチャンネルのプリフェードリッスンモードが無効になります。
5. 使用する他のチャンネルについて、手順 1~4 を繰り返します。

## JP 技術仕様

JP

	DM16	DM12
<b>モノラル入力</b>		
マイク入力 (Midas マイクプリアンプ)	8	12
タイプ	XLR、バランス	
マイク EIN @ 60 dB ゲイン、インサートセン ドで 50 Ω ソース	-131 dBu、重み付けなし、20 Hz ~ 20 kHz	
マイク EIN @ 60 dB ゲイン、インサートセン ドで 150 Ω ソース	-128 dBu、重み付けなし、20 Hz ~ 20 kHz	
ノイズ @ 10 dB ゲイン、 インサートセンド時	-97 dBu、重み付けなし、20 Hz ~ 20 kHz	
メイン出力での周波数応答 (-1 dB)	20 Hz ~ 20 kHz (-1 dB)	
メイン出力での周波数応答 (-3 dB)	70 kHz (-3 dB)	
マイクゲイン範囲	+10 dB ~ +60 dB	
最大 入力レベル	+11 dBu @ +10 dB ゲイン	
CMRR @ +60dB ゲイン	通常 -90 dB	
インピーダンス	2 kΩ、バランス	
0 dBu での歪み (THD+N)	0.005% @ 1kHz	
ファンタム電源	切り替え可能、+48 V	
<b>ライン入力</b>		
タイプ	1/4" TRS、バランス	
インピーダンス	20 kΩ 平衡 / 不平衡	
ラインゲイン範囲	-10 dB ~ +40 dB	
最大 入力レベル	+30 dBu	
<b>ステレオ入力</b>		
タイプ	4 x 1/4" TRS コネクタ、バランス型	
インピーダンス	20 kΩ 平衡/不平衡	
ゲイン範囲	-20 dB ~ +20 dB	
最大 入力レベル	+21 dBu	
<b>イコライザ</b>		
低	±15 dB @ 80 Hz、シェルフ	
ミッド (モノラル入力のみ)	±15 dB @ 150 Hz ~ 3.5 kHz、可変セミパラメトリック	
高い	±15 dB @ 12 kHz、シェルフ	
<b>チャンネルインサート</b>		
タイプ	1/4" TRS コネクタ、不平衡	
最大 入力 / 出力レベル	+21 dBu	
<b>補助送信</b>		
タイプ	2 x 1/4" TRS コネクタ、バランス型	
インピーダンス	240 Ω 平衡、120 Ω 不平衡	
最大 出力レベル	+21 dBu	
<b>監視する</b>		
タイプ	2 x 1/4" TRS コネクタ、バランス型	
インピーダンス	240 Ω 平衡、120 Ω 不平衡	
最大 出力レベル	+21 dBu	
<b>メインアウト</b>		
タイプ	2 x XLR、電子バランス	
インピーダンス	100 Ω 平衡、50 Ω 不平衡	
最大 出力レベル	+21 dBu	
<b>メインアウトインサート</b>		
タイプ	2 x 1/4" TRS コネクタ、不平衡	
最大 入力/出力レベル	+21 dBu	

	DM16	DM12
<b>電話出力</b>		
タイプ	1/4" TRS コネクタ、不平衡	
インピーダンス	25 Ω	
最大 出力レベル	+21 dBu	
<b>2トラック入力</b>		
タイプ	2 x RCA、アンバランス	
インピーダンス	20 kΩ	
最大 入力レベル	+21 dBu	
<b>記録する</b>		
タイプ	2 x RCA、アンバランス	
インピーダンス	1 kΩ	
最大 出力レベル	+21 dBu	
<b>メインミックスシステムのノイズ</b>		
メインミックス @ -∞、 チャンネルフェーダー @ -∞	-104 dBu、重み付けなし、20 Hz ~ 20 kHz	
メインミックス @ 0 dB、 チャンネルフェーダー @ -∞	-91 dBu、重み付けなし、20 Hz ~ 20 kHz	
メインミックス @ 0 dB、 チャンネルフェーダー @ 0 dB	-84 dBu、重み付けなし、20 Hz ~ 20 kHz	
<b>電源 / 電圧 (ヒューズ)</b>		
スイッチモード電源	100-240 V ~ 50/60 Hz、切り替え可能 (T 1.6 A H 250 V)	
消費電力	40 W	
主電源接続	標準 IEC レセプタクル	
<b>寸法 / 重量</b>		
寸法 (H x W x D)	95 x 438 x 370 mm (3.7 x 17.2 x 14.6")	95 x 328 x 370 mm (3.7 x 12.9 x 14.6")
重量	5 kg (2.3 lbs)	5 kg (2.3 lbs)

## その他の重要な情報

### JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:** ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

